

児童発達支援 More 責任者殿

児童氏名 _____

病名 「 _____ 」

年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので
登所可能と判断します。

年 月 日

医療機関名

医 師 名

印又はサイン

当施設は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について登所許可書の提出をお願いします、

感染力のある期間を考慮の上、子どもの健康回復状態が集団での生活が可能な状態となってからの登所であるようご配慮ください。

○医師が記入した登所許可書が望ましい感染症

病名	潜伏期間	主な症状	登所のめやす
インフルエンザ	1～3日	発熱、全身倦怠、筋肉痛、鼻カタル、咽頭痛、咳	解熱後、3日を経過かつ、罹患後5日を経過し、元気がよいとき
百日咳	7～10日	発作性咳の長期反復、持続	特有の咳が消失したとき
はしか（麻疹）	10～12日	上気道のカタル、発熱、粘膜疹、コプリック斑	発疹に伴う熱が下がった後、3日を経過し元気がよいとき
おたふく風邪（流行性耳下腺炎）	14日～24日	発熱、耳下腺・舌下腺・顎下腺の腫脹及び圧痛	耳下腺等の腫れが発現し5日を経過するまで、かつ全身状態がよいとき
結核		肺結核では2週間以上の咳・痰・発熱	医師により感染のおそれがないと認められるまで
三日はしか（風疹）	14～21日	腫々の発疹、軽熱、リンパ節腫脹	発疹が消失したとき
水ぼうそう	11～21日	軽熱、被覆部に発疹、斑点丘疹状→水泡→顆粒上痂皮	すべての発疹が痂皮（かさぶた）になるまで
咽頭結膜熱（アデノウイルス）	5～7日	発熱、全身症状、咽頭炎と結膜炎の合併症	解熱し主要症状がなくなった後、2日を経過してから
流行性角結膜炎	5～12日	流涙、結膜充血、目やに、耳前リンパ節の腫脹と圧痛	医師により感染のおそれがないと認められるまで
急性出血性結膜炎	1～3日	結膜出血	医師により感染のおそれがないと認められるまで